

令和7年6月定例議会一般質問通告

受付番号	議席番号	議員名 (敬称略)	所要時間	質問事項
1	3	埴田光雄	30	1 広報の方法について
				2 住宅の耐震事業について
2	9	白川立真	30	1 南部町教育
3	1	秋田佐紀子	30	1 帯状疱疹ワクチン接種に対する助成制度の導入について
4	11	仲田司朗	30	1 社会教育について
				2 地域脱炭素実現に向けた取り組みについて
5	13	真壁容子	30	1 保育園建設計画の見直しを求め、民間移管ではなく町立保育園として存続させることを求める
				2 高齢者の生活実態の把握と住居対策を求める
6	5	荊尾芳之	30	1 自然災害対策
				2 公共施設管理
7	4	加藤 学	30	1 前立腺がん検診について
				2 物価高騰対策
8	2	井原啓明	30	1 地域計画(人・農地プラン)を問う
				2 統合保育所予定地の防災上の懸念について
9	12	板井 隆	30	1 地域づくりについて
				2 統合保育所について

受付番号 1番

議席番号 3番

令和7年5月20日  
午前11時00分受領

令和7年5月20日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 塚田光雄

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
広報の方法について	令和6年12月定例会での一般質問でYouTubeやソーシャルメディア等の運用規約等がないと説明があり質問が出来なかったが運用規約が公表されたので、内容に沿って質問します	1. 令和6年度中に運用規約等を作成されると聞いていたが、令和7年度になった理由を伺います。 2. SNS等の具体的な運営方法を伺います。	20分	町長
住宅の耐震事業について	住宅の耐震化は暮らしや命を守るうえで大変重要です。昨年度までの事業と大きな変更があるので質問します。	1. 今年度大きく変わった事業内容を伺います。 2. 今まで活用が少なかった理由を伺います。 3. この事業を活用していただく方法を伺います。	10分	町長

受付番号 2 番

議席番号 9 番

令和 7年 5月22日

午前 9時30分受領

令和 7年 5月21日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 白川 立真

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
南部町教育	<p>令和6年3月策定の南部町教育振興基本計画第Ⅲ期(令和6～11年度)では、これまでの取り組みを振り返り、新しい時代に対応した「新しい南部町教育」を実現するとしている。</p> <p>近年、南部町での不登校出現率はかなり高く、社会変化の激しい時代にあって、文部科学省は小中学生の不登校はおよそ34万人余となり過去最多となったとしている。</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 南部町教育振興基本計画第Ⅲ期により、これからの南部町教育はどう変わるのか伺う。</li><li>2. 不登校や不登校傾向にある児童、生徒を支援する教育支援センターさくらんぼや校内サポートルームはどう取り組まれるのか伺う。</li><li>3. 中学校部活動の「地域移行」について、その背景と課題について伺う。</li></ol>	30分	教育長

受付番号 3 番  
議席番号 1 番

令和 7年 5月 27日  
午後 4時 20分受領

令和 7年 5月 27日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 秋田佐紀子

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
带状疱疹ワクチン接種に対する助成制度の導入について	令和7年4月1日から65歳の方などへの带状疱疹ワクチンの予防接種が、予防接種法に基づく定期接種の対象になり、その対象者は65歳から5歳刻みで実施となりました。あわせて南部町でも取り組みが始まりましたが、この带状疱疹は、50歳から発症のピークを迎えると言われ、後遺症に悩む人も多くおられるようです。また、自己負担が高価でワクチン接種を躊躇しているという住民の声をきいています。そこで、助成制度が必要ではないかと考えています。併せて、50歳から64歳の方及び定期接種対象者以外で接種が必要な方にも、助成が必要だと考えています。	1. 带状疱疹とはどのような疾病なのでしょうか。 2. 带状疱疹ワクチンが定期接種化となった背景を伺います。 3. 带状疱疹ワクチンの効果と安全性に関する認識を伺います。 4. 带状疱疹ワクチンの各対象者人数を伺います。 (資料) 5. 本年度中に定期接種を受けなかった方への対応について伺います。 6. 助成制度について、町のお考えを伺います。	30分	町長

受付番号 4 番  
議席番号 11 番

令和 7年 5月28日  
午前 9時 30分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 仲田 司朗

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
社会教育について	南部町教育基本計画(第Ⅲ期)が策定され取り組まれています。町独自のカリキュラム「まち未来科」による学びの実践は社会教育へ引き継がれ、高校生サークルや新☆青年団が参画するまちづくりの取り組みへと広がっていますが、主体的な青年団活動の育成が必要だと思っています。社会教育の関係については、新型コロナウイルス感染症により活動が自粛される時期がありました。令和5年5月から5類感染症へ移行し、活動が再開されていますが活発な活動となっていないようです。また、地域で子ども達を育てようという、「地域の教育力」が希薄になっていると感じています。	1. 公民館活動での人材育成の取り組みを伺います。 2. 公民館活動を通じた地域課題解決の取り組みを伺います。 3. 今後の青年団活動の充実策を伺います。 4. 障がいのある方との交流や連携について伺います。 5. 「地域の教育力」について伺います。	20分	教育長

<p>地域脱炭素 実現に向け た取り組み について</p>	<p>町は、2050年（令和32年）までにゼロ・カーボン実現を目標とする「地域脱炭素に向けた再エネの最大限導入のための計画」を令和5年1月に策定しました。この計画により、再エネ設備導入を促進するため補助制度が実施されていますが、家庭での補助制度のほか、ゼロエネルギーハウス等導入事業補助制度、事業所向けの補助制度、中小企業GX戦略設備導入補助が必要だろとうと思います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度からの取組状況を伺います。</li> <li>2. 令和7年度からの新規事業を伺います。</li> <li>3. 補助制度の拡充について伺います。</li> <li>4. 2050年の温室効果ガス排出量の削減目標と達成率（最新）を伺います。</li> </ol>	<p>10分</p>	<p>町長</p>
---	--	--	------------	-----------

受付番号 5 番

議席番号 13 番

令和 7年 5月28日

午後 0時10分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 真壁容子

### 一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

### 記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
保育園建設計画の見直しを求め、民間移管ではなく町立保育園として存続させることを求める	町は統合保育園建設、民間移管の計画を進めているが、依然としてこの計画を知らない町民が多い。また、この計画を知った町民からは、 「なぜ、子どもが増えないのに大きな建物があるのか」 「人口が減るのに建物に18億円も使う必要があるのか」 という建設規模と多額の建設費への疑問と同時に 「どうして伯耆の国への民間移管なのか」という声が多く聞かれた。 特に、町が建設をするのに伯耆の国に無償貸与することへの疑問が多い。 住民に十分な説明がされていないことに加え、これまでの説明すら説得力に欠けるものと言	1. 人口減少のなかで大きな施設建設が必要か。 ・2050年までの人口と入園児数の推移 (資料) ・計画面積1万1千m <sup>2</sup> の内訳 (資料) 2. 総事業費約18億円、約20億円返済をどう考えているのか。 3. 何のための、誰のための民間移管か問う。	20分	町長

<p>高齢者の生活実態の把握と住居対策を求める</p>	<p>わざるを得ない。</p> <p>一施設の建設に約20億円の返済計画を持つこの事業が、人口減を迎える今日の状況でどういふ事態を招くことになるのか、町立保育園を廃止するということはこれからの保育園運営にどのようなことをもたらすのか、しっかりと検証すべきであり、見直しも含めた検討の必要性を町民の声から、認識すべきと考え、質問する。</p> <p>歳を重ねても住み慣れた地域・自宅で暮らし続けたいというのは多くの方の共通した思いだ。政府も地域共生社会を声高に叫んでいる。一方在宅を支えるサービスは介護報酬減で、事業者が運営に四苦八苦しているのが全国の状況だ。</p> <p>「介護保険の世話にならずに暮らしているが、いつまで自宅で暮らせるか心配だ。自分のできることはしたいと思うが、私たちのようなものが利用できる施設はないものだろうか」</p> <p>これは、90代の独居高齢者の声だ。</p> <p>高齢者のケア住宅等、町が考えなければならないときに来ているのではないだろうか。町の考えを聞き、取り組みを促したい。</p>	<p>1. 高齢者の世帯状況の把握を求め、課題を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢独居、高齢世帯の件数と推移 (資料)</li> <li>・デイ、ホームヘルプサービスの利用者数 (資料)</li> </ul> <p>2. 高齢者のケア住宅等の必要性をどう考えているのか。</p>	<p>10分</p>	<p>町長</p>
-----------------------------	--	--	------------	-----------

受付番号 6 番  
議席番号 5 番

令和 7年 5月28日  
午後 1時30分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 荊尾 芳之

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
自然災害対策	大雨（線状降水帯、集中豪雨）による洪水被害や地震、大規模な山林火災の発生など各地で自然災害が数多く発生しています。大規模な山林火災は野焼きの禁止など地域防災計画で十分な対策を行うべきだと思います。避難所には、トイレカー、シャワーカー、キャンピングカー等の災害対応車両をリース配備する仕組みが考えられます。地震対策では、住宅の耐震化が重要で、耐震診断や建物補強の補助事業の浸透が必要です。自然災害の発生原因は、異常気象によるものでCO2の発生量と関係していると思っております。	1. 南部町の自然災害対策を問う。 2. 野焼きの禁止など火の取り扱いについて、広報・周知を問う。 3. 避難所への災害対応車両の配備を問う。 4. 住宅の耐震事業の推進について問う。 5. 地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画（重点対策加速事業）の推進を問う。	20分	町長
公共施設管理	公共施設等の維持管理について、特に城山公園は観光客を呼べる場所に、法勝寺川の河川敷スポーツ広場は住民が活用できるようにしたいと思っております。	1. 城山公園の維持管理について問う。 2. 法勝寺川の河川敷スポーツ広場の維持管理について問う。	10分	町長

受付番号 7 番  
議席番号 4 番

令和 7年 5月28日  
午後 3時25分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 加藤 学

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
前立腺がん検診 について	定期健診の項目から前立腺がん検診がなくなったが、前立腺がん検診を自前で受診をして前立腺がんと判明した方がおられます。この前立腺がんは、早期発見すれば怖くないがんです。議会では平成23年9月に、がん征圧宣言を行っています。定期健診に前立腺がんが必要だと考え問います。	1. 定期検診に前立腺がんを加えることを求める。	15分	町長
物価高騰対策	物価高騰対策として、国会では消費税の減税が検討されています。町の物価高騰対策として、公共料金の引き下げが必要と考え問います。	1. 水道料金の基本料金の減額を求める。	15分	町長

受付番号 8 番  
議席番号 2 番

令和 7年 5月28日  
午後 3時45分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 井原 啓明

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。

なお、発言所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の主旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める項目)	所要 時間	答弁を 求める者
地域計画（人・農地プラン）を問う	農業経営基盤強化対策法の改正、いわゆる人・農地プランの見直し（法制化）により、産業課を中心として農業委員会、担い手、地権者による協議体で将来の町内の農業をどのように展開していくのか、10年後の担い手の状況を「目標地図」に表す地域計画が完成し、令和7年3月に公表されました。	1. 策定された地域計画及び目標地図の評価を問う。 2. 策定された地域計画を今後どのように活用していくか問う。 3. 生産コスト削減には、担い手への農地の集約や大区画化が必要と考えるが、町の見解を問う。 4. 地域計画を基にした農業政策の展開について問う。	15分	町長
統合保育所予定地の防災上の懸念について	ため池決壊による災害は全国各地で発生し、その対策として「防災重点ため池の保全に関する法律」が制定されている。近	1. 福里上池のハザードマップは、地震による決壊も想定されているのか問う。 2. 福里上池のハザードマ	15分	町長

	<p>年、南部町でも線状降水帯により東町の「奥堤池」の損壊、柏尾の「瀬戸の池」の越流により、指定避難場所である公民館前道路が冠水、米子市の吉谷では「古市大池」（33,000トン）の堤体決壊のおそれがあるという状況になった。議会への説明は、ハザードマップ等資料により予定地の安全は確認されているとのことだが町民の心配の声は多い。</p>	<p>ップは、下流水路の状況をどのように想定しているか問う。</p> <p>3. 新築の統合保育所からの避難経路が浸水している場合について問う。</p> <p>4. ため池管理システム（水位計測、画像監視）の導入予定を問う。</p> <p>5. 福里上池の安全性をどう評価しているか問う。</p>		
--	---	--	--	--

受付番号 9 番  
議席番号 12 番

令和 7年 5月28日  
午後 3時55分受領

令和 7年 5月28日

南部町議会議長 景山 浩 様

南部町議会議員 板井 隆

一般質問通告について

今期、南部町議会定例会において、下記のとおり質問したいので通告します。  
なお、発信所要の総予定時間は、30分であります。

記

質問事項	質問の趣旨及び背景	質問要旨 (具体的に回答を求める事項)	所要 時間	答弁を 求める者
地域づくり について	今年3月15日、キナルなんぶにおいて南部町・島根大学共同研究報告会が開催され、島根大学教育学部の作野広和教授からの「南部町のコミュニティと地域の未来」の報告に続き、作野教授のゼミで研究する田口颯馬さんの「南部町における地域振興協議会と地域づくり」の研究発表がありました。地域づくりは人づくりが必要で、女性、若者、子どもの参画がポイントであるとの報告でした。南部町7地区の地域振興協議会では、地域の運営組織として経験を活かして「地域づくり計画」を策定し、地域における課題解決の源泉である「互助」に町と一緒に実践してきていますが、各地域振興協議会では集落との関係に苦慮されています。地域課題「やるべきこと」から地域資源の活用「やりたいこと」で各協議会は地域計画を策定し推進していますが、各協議会が地域の先導者として持つ今後の課題、また、町との連携に何が必要であるのか、共同研究報告会で感じたところです。	1. 少子高齢化等による集落機能の低下に対し、町と協議会の役割や連携を問う。 2. 地域資源の活用「やりたいこと」への町の支援策を問う。 3. 各振興協議会における集落との関係改善に必要な町の支援策を問う。 4. 地域での人づくりに町の今後の対応を問う。 5. 南部町・島根大学共同研究報告会の成果と今後の課題を問う。	15分	町長
統合保育所 について	つくし保育園とさくら保育園の統合保育所の建設が、敷地造成工事が発注され、いよいよ本格的に始まります。町	1. 町内保育所の現状と課題を問う。 2. 建設地の決定経過を	15分	町長

	<p>民にとっても南部町の宝である園児が来年秋には新築された保育所へ通うこととなります。保護者、町民の皆様も待ちに待ったことだろうと思います。これまでの経過は、令和2年12月に子ども・子育て支援法に基づく「子ども子育て会議」が設置され、改修による長寿命化ではなく、つくし保育園とさくら保育園の2園統合の方向性が示されました。続いて町は行財政審議会へ「南部町立保育園の統合並びに整備運営方法について」諮問し、令和3年10月に「民設民営を目指すことが適当である。」との答申がなされました。令和4年3月には「南部町保育所あり方検討委員会」が発足、パブリックコメントの募集が行われ、令和5年1月に「南部立保育所統合に係る基本構想」が発表されました。その後、令和5年8月に行財政運営審議会へ「新たに設置する保育園の整備及び運営方法について」再諮問を行い、同年8月に「町が建物を整備し公私連携型保育園制度により伯耆の国が当該建物を活用して「私立保育園」を運営する方法」を妥当とする諮問がなされました。議会では、令和6年12月定例会において、「統合保育所設置計画の進捗について町民に広く周知すること求める陳情書」を採択、同定例会において「統合保育所建設調査特別委員会」を設置し、これまで4回の委員会が開催され、執行部からの説明を聞き取り、調査・研究に取り組んでいます。</p>	<p>問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 敷地造成工事の概要を問う。</li> <li>4. 新園舎の概要を問う。</li> <li>5. 統合保育所の防災拠点としての活用を問う。</li> <li>6. 統合保育所の運営方法及び方針を問う。</li> <li>7. 統合保育所整備の今後のスケジュールを問う。</li> </ol>		
--	---	--	--	--